

GA 2017 Fall 竹広 幸司郎さんインタビュー

日時：2018/9/18

◆ 留学をしようと思ったきっかけは何でしたか。

在籍している学部の卒業条件であったこと、何か自分が変わるきっかけになればと思って留学が卒業条件になっているこの学部を選んだから、というのがいちばんの理由かもしれません。

◆ 今回の留学先を選んだ理由は何ですか。

自分の英語力で学部履修授業を選択し、留学先大学で生活することに自信がないものの語学学校だけではなんだか物足りない、そんなふうと考えていた時に自分にとっての「いいとこ取り」ができるコンカレントプログラムを提供している大学として SAF スタッフの方に紹介していただいたこと、また、アメリカという国に留学することに漠然とした憧れを抱いていた自分がいたこと、東京という都市部に住んでいたことで田舎暮らしを経験してみたいと思ったことなども理由の一つでした。

◆ 面白かった授業や苦手だった授業について教えてください。

Global Competence という授業では、様々な国の文化や政治情勢についてその国の歴史を交えながら学びます。留学生としてこの授業に参加すると、自分がこれまで生活していた時の印象の日本とアメリカ人が考える客観的な日本との違いがとても興味深くもありました。また、その授業の中で多国籍の料理を体験しに行く会があり、生徒や先生、先生のお父さんが車を出し合っってレストランに行くという、日本ではあまり考えられないスタイルがとても面白かったです。

私はリスニングに自信がなかったので、留学してからしばらくは Principles of Microeconomics というミクロ経済の原理を学ぶ授業では専門用語や法律の名前などが多くあり、また課題や予習復習の量が多くとても大変で初めのうちは苦手意識がありました。

◆ 授業の雰囲気はいかがでしたか？

学部での授業は日本の大学のような講義形式の授業もありましたが、授業中でも大変多くの質問が飛び交い、授業の最中であっても活発な議論がなされることもしばしばありました。そのほかにもグループワークが中心の授業や、毎回ゲストスピーカーを招待し、授業ごとにレクチャーする先生が違うということもありました。通っていた語学学校では Speaking, Listening and Note-taking と Reading and Writing の二つに分かれており、前者はグループワーク、後者は講義中心の授業でした。

◆ **わかる範囲で結構ですので、学生さんの国籍の比率を教えてください。**

生徒数が約15000人、その中に留学生が700人ほどでした。その中には日本人、中国人、韓国人といったアジアからの留学生の他にも、フランス、イタリア、サウジアラビア、ドイツ、インドネシア、スペイン、チリなどからの留学生もいました。イギリスやアイルランド、カナダといった英語圏からの留学生も多く、留学の目的が語学だけではないことを改めて再認識させられました。

◆ **授業以外に参加したアクティビティはありましたか。**

オリエンテーション期間には、Movie Night なども含め、部活動の紹介ツアーやビンゴ大会などたくさんのイベントに参加しました。授業外のアクティビティ団体で行った世界遺産のイエローストーン国立公園は留學生活の中でもとてもいい思い出です。また、現地ですぐにできた友人の多くはこのような授業外のアクティビティで知り合った人たちでした。もしみなさんの留學先でもそのようなイベントやアクティビティがあったら積極的に参加してみてください。

◆ **大学内でよく利用した施設があったら教えてください。**

大学内の University Center という校舎には、ビリヤードや卓球、テレビゲームなどが充実している Game room という施設や映画館もありました。また、この校舎の中には学生たちが利用できる多目的ホールのようなものもあり、昼休みにはそこで食事をとったり、勉強場所に利用したりすることも多かったです。夜の11時まで開いており、校舎内のカフェなども遅くまで営業していたこともあってとても使い勝手が良く、よく利用していました。

◆ **大学の食堂（カフェテリア）はありましたか。また料金設定はどうでしたか。**

Food Zoo という名前の食堂があり、寮生活をしている生徒の多くがここを利用して食事を取ります。週に一度、学生証に自動的に52.5ドルがチャージされ、Food Zoo に入る際に一食につき3.75ドルが引かれます。中ではバイキング形式の食事です。もし外食する機会が多い週があり、チャージされたお金が余ってしまった時には校内に併設されたコンビニエンスストアのようなショップで買い物することで消費することもできます。

◆ **滞在先から大学までの通学はどうでしたか。交通機関等は利用しましたか。**

滞在先から大学までの通学はどうでしたか。交通機関等は利用しましたか。

キャンパス内に建っていた寮だったので、どの教室に向かうのも徒歩で10分あれば十分でした。街の交通機関はバスのみですが、平日は約15分、土曜日は1時間間隔で走っています。何路線かあるそのバスを利用すれば、ダウンタウンやショッピングモールなど日常生活を送る上でのたいの用事は済ませることができます。

◆ **滞在先についての良かった点、悪かった点があったら教えてください。**

自然豊かな町で、都会の東京とは全く対照的でした。緑に囲まれリスや鹿、タヌキなどの野生動物を目にするのが当たり前で、街の建物は3回建て以下のものがほとんどだったので空が広く夜景もとても綺麗でした。明かりが少ないためか晴れた夜には美しい星空が広がり、時にはオーロラが見られる日もありました。ただ、日曜日にバスが走っていないことが時にこの街を不便に感じさせることもありました。

◆ **街の雰囲気はどうでしたか。また治安はどうでしたか。**

田舎町ということもあり、人の優しさがとても印象深い街でした。大学を中心に街が成り立っていることもあり、治安はとても良い街でした。夜中にも安心して歩けるというのもミズーラの魅力だと思います。

◆ **休日はどのように過ごしていましたか。長期休暇には旅行等されましたか。**

平日の授業で出た課題を消化するために充てたり、友人と共にどこかに外出したりします。また、そのような休日を利用して校外で行われているイベントやアクティビティに参加し、友人の輪を広げるといったこともありました。11月上旬にはアラスカでオーロラツアーに参加するために11月下旬のサンクスギビングデーを利用してシアトルに旅行しました。その後、全ての留学プログラムが終了した12月下旬から1ヶ月かけてニューヨーク、ロサンゼルス、ラスベガスなどに行きました。

◆ **交通の便はどうでしたか。**

街の交通機関はバスのみですが、平日は約15分、土曜日は1時間間隔で走っています。何路線かあるそのバスを利用すれば、ダウンタウンやショッピングモールなど日常生活を送る上でのたいの用事は済ませることが出来ます。

◆ **現地にはどれくらいのお金を持っていきましたか。また月どのくらい使っていましたか。**

カードで約100万円、現金で10万円ほど持参しました。1ヶ月の旅を含めても十分な額でした。

◆ **普段は月いくらぐらい使いましたか**

普段は月に4～5万円を使っていました。旅行代は別途という感じです。

◆ **今回の留学は、就職活動に活かそうですか。**

自分は就職活動のために留学をしたわけではありませんし、日本国内では留学が珍しいことではなくなってきている今、「留学に行った」ことをアピールすることが何らかの形で自分の就職活動に有利に働くということはないと考えています。ただ、アメリカで感じた日本ではできないこと

を経験したことや、課題をこなす中でついた忍耐力が結果的に今後の就職活動や働いている時に活かすことができたらいいなと思います。

◆ **今回の留学を通して自身が成長したな、変わったなと思う面はありますか。**

語学力を伸ばすことができたというのももちろんありますが、一番は勉強に対する価値観が変わりました。日本の大学では授業中に居眠りをする人、スマートフォンを操作しながら授業を受ける人が一定数いるかと思えます。それに対し、アメリカの大学生は生徒全員がとても真面目に授業を受けていました。どこか自分の中に今の日本の大学生の態度が「当たり前」になってしまっていた部分がありましたが、留学中、現地の学生に本気で学ぶ本来の姿勢を見せつけられた気がしています。これからの授業はより吸収できることが多くなるように頑張ろうと思いました。

◆ **留学を終えた今、今後の目標があったら教えてください。**

今後社会で僕が学んだ語学としての英語がどれほど役に立つのかはわかりません。翻訳機は人間以上のスピードで進化を続け、人とコミュニケーションを取るためだけならば人間が言語を覚えなくてもいい日が来るかもしれません。しかし私は今回の留学で語学力を向上させることだけが留学ではないと感じました。それでももちろん英語の勉強は続けますし、今後どこかで留学先でしか経験できなかった貴重な出来事を少しでも何らかの形に活かすことができればいいなと考えています。

◆ **最後に、これから岡本さんの「後輩」となる学生へメッセージがあったらお願いします！**

英語の成績が悪く、勉強も得意ではなかった自分にとって留学は「覚悟を決めた挑戦」でした。勉強を中心に生活し、様々な性格の人と異言語でコミュニケーションを取る。これを数ヶ月続けるわけですから慣れてきても楽しいことばかりではありません。正直、授業期間は辛いことやきついことの方が多かったように思います。ですが、帰国してからもこの留學生活があったからこそ様々なことに挑戦しようと思えます。モンタナに留学した当初は英語力だけではなく様々な不安要素がありましたが、ここで出会った様々な人に助けられなんとかここまで来ることができました。時間が経つにつれて、少しずつではありましたが自分の英語力やコミュニケーション力の伸びを実感し始め、この4ヶ月の間で大きく成長できたと感じています。

目の前にあることすべてをチャンスだと思って必死に食らいついてみてください。それが留学であってもなくても、自分を成長させてくれるでしょう。